



令和4年度 伊豆の国市立長岡中学校 グランドデザイン

《長岡中学校教育目標》

確かな学力を身に付け、 たくましく生きる生徒の育成

校 訓

正直
親切
勤勉

重点目標

自ら学ぶ姿勢を身に付けよう（学びに向かう力・人間性）
思いや考えを伝える力を身に付けよう（思考力・判断力・表現力）
規範意識を高め集団生活を向上させよう（学習の基盤づくり）

自主自律の精神

長中魂

感謝

1、2、3月

充実

11、12月

団結

8、9、10月

挑戦

6、7月

出会い

4、5月

保護者・地域との
連携・サポート

学校経営目標

資質・能力の高まり

1年間を「出会い」「挑戦」「団結」「充実」「感謝」5つのステージに分け、計画→実行→評価→改善を繰り返しながらステップアップし、生徒の資質・能力を高めていく

- 1 子どもが主体的に学ぶ授業づくりと家庭学習の習慣化により確かな学力の定着を図る
学び手の視点で授業をつくり、ICTを活用し個別最適な学びや協働的な学びを実現。（研修の充実）
特別支援教育の視点で個に応じた支援を行い、学ぶことの大切さや喜びを感じる。（合理的配慮）
授業と家庭学習の関連性を高め、子どもたちが必要感をもてる課題への取組（宿題や予習・復習）
- 2 「長中魂」を合い言葉に、思いやりと規律のある生活の中で好ましい人間関係を形成し、自信と誇りをもって生活する
授業や行事などの協働的な学びを通して満足感、達成感を味わう成功体験を積み重ねる。
集団への所属感や生徒個々のアイデンティティを確立するために「長中魂」を行動の指針とする。
話し合い活動を充実し、合意形成に至るしくみを体感理解する。年間を通した縦割り活動の充実。
- 3 地域に関心をもち、そのよさや課題を知って積極的に関わろうとする一方で、学校に地域の教育力を取り込むと共に、開かれた学校づくりをめざす
総合的な学習におけるカリキュラム・マネジメントと地域に関わる学習の機会を計画的に設定。
ソーラン、長中太鼓、鶴踊り等を工夫して実施。外部講師の積極的な活用。
教育活動に関する日々の情報を発信（ホームページや学校だより等）
今日的課題に対応した教育を地域や関係機関の協力を得ながら進める。（防災・安全などの命を守る教育、情報活用能力の育成、大河ドラマに関連した学習や反射炉検定など）
- 4 教職員がそれぞれの持ち味を生かし、SC、SSW等の非常勤職員と連携して取り組むことで教育効果を上げ、働きがいのある職場をつくる
働き方改革を進め教員の自己研鑽・意欲向上を図る。OJTによりライフステージに応じた資質・能力を身に付ける。ハイパーQUの活用、SCやSSWとの連携。事務職員の学校経営への参画。